

## 2010 年度 小委員会活動成果報告

(2011 年 1 月 17 日作成)

小委員会名	屋外空気環境小委員会	主 査 名：持田 灯 就任年月：2009 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学本委員会 (空気環境運営委員会)	委員長名：久野 覚 主 査 名：近藤靖史
設 置 期 間	2009 年 4 月 ～ 2013 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>快適な屋外環境の形成に資することを目的、以下の 2 項目</p> <p>① 都市の風環境、汚染質拡散の乱流数値解析手法</p> <p>② 都市の換気・通風性状の定量化手法</p> <p>について、現状の技術水準を明らかにするとともに、それらを適切に利用するための技術資料を論文や刊行物として整理することを目的とする。</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：無</p> <p>持田灯 (東北大)・富永禎秀 (新潟工科大)・義江龍一郎 (東京工芸大)・飯塚悟 (名古屋大)・大岡龍三・石田義洋 (東大生研)・大黒雅之 (大成)・片岡浩人 (大林)・白澤多一 (大妻女子大)・高木賢二 (鹿島)・土屋直也 (竹中)・野津剛 (清水)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市の汚染質拡散の乱流モデリング WG：CFD に基づく乱流解析手法を都市の汚染質拡散問題へ適用した場合の留意点や適用範囲を明らかにする。</li> <li>・都市の換気・通風 WG：都市の換気・通風性能を予測・制御するため、現状の技術を明らかにし、風を適切に利用するための技術資料を整備する。</li> </ul>	
2010 年度予算	177,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： <a href="http://www.ytomi.net/aij_okugai/">http://www.ytomi.net/aij_okugai/</a>

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	<p>1. 勉強会「大気環境アセスメントにおける CFD シミュレーション手法適用性」 水野建樹氏 (日本気象協会) 参加者数 15 名</p> <p>2. 都市の風通しに関する勉強会 (講師：飯塚悟氏 (5/13), 成田健一氏 (7/26), 菅原浩史氏 (10/14), 大岡龍三氏 (2/22 予定)) 延べ参加者数 合計 35 名</p> <p>3. 2011 年度空気シンポの企画</p>
大会研究集会	1. 2010 年度日本建築学会大会 オーガナイズドセッション「都市の通風・換気」 参加者数 60 名
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	<p>1. 都市の汚染質拡散の乱流モデリング WG：80%の達成度</p> <p>2. 都市の換気・通風 WG：80%の達成度</p>
委員会活動の問題点 ・課題	最終的な成果のアウトプットの内容や仕様を、設計実務や行政におけるニーズ等を調査しながら具体的にしていく必要がある。

\*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。